

令和3年度袖ヶ浦市決算の概要

総務省から示された財務書類作成における「統一的な基準」に基づき平成28年度決算分から財務書類を作成しています。財務書類作成の目的は、地方公共団体の説明責任の履行と、財政運営の効率化・適正化を推進することです。

①貸借対照表

令和4年3月31日現在 (単位:百万円)

科目名	金額	科目名	金額
資産の部 【これまでに形成された資産】		負債の部 【将来世代の負担】	
固定資産(学校、公園など)	64,707	固定負債	17,641
・有形固定資産	55,564	・地方債	14,289
・無形固定資産	38	・退職手当引当金ほか	3,352
・投資その他の資産	9,105	流動負債	2,051
流動資産	4,310		
・現金預金	1,189		
・基金	2,748	負債合計	19,692
・未収金ほか	373	純資産の部	
		【過去及び現世代の負担】	
		純資産合計	49,325
資産合計	69,018	負債及び純資産合計	69,018

②行政コスト計算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日 (単位:百万円)

科目名	金額
経常費用	26,259
業務費用	13,783
・人件費	5,600
・物件費等	7,997
・その他の業務費用	186
移転費用(社会保障給付など)	12,476
経常収益	955
純経常行政コスト	25,304
臨時収支	-19
純行政コスト	25,323

③純資産変動計算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日 (単位:百万円)

科目名	金額
前年度末純資産残高	48,992
純行政コスト(△)	-25,323
財源	25,651
・税収等	17,277
・国県等補助金	8,374
本年度差額	328
無償所管換等	6
本年度純資産変動額	333
本年度末純資産残高	49,325

④資金収支計算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日 (単位:百万円)

科目名	金額
業務活動収支	1,452
投資活動収支	-2,426
財務活動収支	729
本年度資金収支額	-245
前年度末資金残高	1,383
本年度末資金残高	1,138
本年度末歳計外現金残高	51
本年度末現金預金残高	1,189

貸借対照表

貸借対照表とは、基準日(年度末時点)での財政状態(資産・負債・純資産の残高及び内訳)を表示したものです。表の左側には、市が保有している資産を、右側には、その資産を取得するために要した財源の内訳を示しています。

行政コスト計算書

行政活動に係る費用と行政サービス(福祉やごみの収集など)の受益者負担の関係を表しています。

純資産変動計算書

純資産(過去及び現世代や国・県が負担した将来返済しなくてよい財産)が、どのように増減したかを区分して表したものです。

資金収支計算書

一年間の資金の増減を、現世代のための「業務活動収支」、将来世代のための「投資活動収支」、将来世代が負担する「財務活動収支」に区分したものです。